

日本薬剤学会 (APSTJ) ニュース

15

広報委員会の活動

昭和薬科大学

藤井まき子

MAKIKO FUJII

Showa Pharmaceutical University

はじめに

広報委員会は、日本薬剤学会の社団法人化に伴い、ホームページ委員会を発展的に解散し作られた日本薬剤学会の中では新しい委員会である。広報委員会の目的は大きく分けて2つある。1つは学会ホームページの運営・管理であり、もうひとつは日本薬剤学会の活動を社会にアピールすることである。表1に示した7名の大学、病院、企業、学会事務局とバックグラウンドの異なる委員がメールで意見を交換しながら協力して活動を行っている。現在の活動は主に1つ目のホームページの運営・管理であり、4月にホームページをリニューアルしたので、これを中心に紹介する。

表1 日本薬剤学会 広報委員会のメンバー

藤井まき子	委員長(昭和薬科大)
岡田 弘晃	(東京薬科大)
岡本 浩一	(名城大・薬)
小口 敏夫	(山梨大附属病院)
尾関 哲也	(東京薬科大)
田中 依子	(日本薬剤学会)
田畑 哲朗	(武田薬品工業)

新ホームページの概要

これまでのホームページは、国立情報学研究所のサーバーを借りる形で運営してきたが、活動やセキュリティの点で制限があった。学会情報を伝達するのみの第1時期を脱し、学会活動を盛んにするツールのひとつとしてホームページを利用するために、新たに学会独自のサーバーを持つこととした。

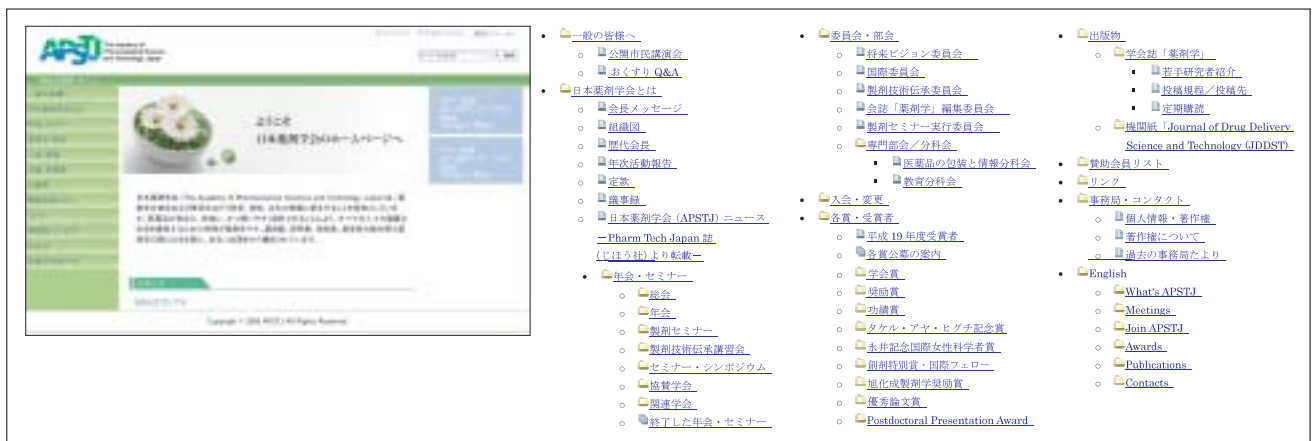


図1 日本薬剤学会ホームページ～トップページとサイトマップ～

広報委員会の活動

新しい学会ホームページのURLは、日本薬剤学会の英文表記、The Academy of Pharmaceutical Sciences and Technology, Japanの略号そのものを用いた <http://www.apstj.jp/> である。

図1にトップページとサイトマップを示す。トップページでは、左端に目次、中央には学会のコンセプトと、新着情報、日本薬剤学会主催のセミナーなどの案内、関連学会開催に関するリンクなどを配置した。目次の項目をクリックすると、さらにサブ目次が現れるようになっている。また、現在見ているページの位置がわかるよう、上部にサイト位置が現れるようにした。バナー広告を入れ、企業からの会員への情報提供を促すとともに、掲載費はホームページ運営費用の一部に充てる。以下にいくつかのページを紹介する。

新しい試み「おくすりQ&A」コーナー

目次の最初は「一般の皆様へ」ということで、これまでの年会時に行われる公開市民講演会に加え、ホームページのリニューアルを機に、日本薬剤学会の社会貢献の1つとして、「おくすりQ&A」コーナーを岡田弘晃副会

表2 おくすりQ&A 回答をお願いする先生(敬称略・順不同)

- 安原真人：東京医科歯科大学医学部教授，附属病院薬剤部長
 - 佐々木 均：長崎大学医学部教授，附属病院薬剤部長
 - 並木徳之：東京慈恵会医科大学附属第三病院薬剤部課長補佐
 - 今井輝子：熊本大学大学院医学薬学研究部教授，病態薬効解析学講座
 - 大戸茂弘：九州大学大学院薬学研究院教授，薬剤学分野
 - 高倉喜信：京都大学大学院薬学研究科教授，病態情報薬学分野
 - 高野幹久：広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授，医療薬理学研究室
 - 山本恵司：千葉大学大学院薬学研究院教授，製剤工学
 - 牧野悠治：徳島文理大学香川薬学部教授，製剤学講座
 - 松山賢治：共立薬科大学教授，臨床薬学講座
 - 田畑哲朗：武田薬品工業(株)，製剤技術研究所RM
 - 湯浅修一郎：トーアエイヨー(株)，製剤技術センター所長
 - 迫 和博：アステラス製薬(株)，PVM研究室長
 - 谷野忠嗣：塩野義製薬(株)，製剤研究部長
 - 吉野廣祐：神戸学院大学薬学部，客員特別研究員(元 田辺製薬(株)CMC研究所長)
- (常時15名以上)
- アドバイザー：
- 岡野光夫：東京女子医科大学教授，先端生命医学研究所所長
 - 松村保広：国立がんセンター東病院，臨床開発センターがん治療開発部長
 - 星 恵子：昭和薬科大学教授，薬物治療学
- (3名)
- 監修：
- 岡田弘晃：東京薬科大学薬学部教授，製剤設計学講座

表3 現在掲載中の「おくすりQ&A」コーナーの質問

- 1) 子供(7才)が病院からもらった錠剤を飲み込むことができません。錠剤を砕いて飲ませてもいいのでしょうか？
- 2) とても苦い粉クスリを薬局でもらいました。牛乳と一緒に飲んでもいいのでしょうか？
- 3) 冬になると、いつも咽喉が腫れて熱を出すのですが、去年同じ症状でもらった抗生物質と解熱剤が残っています、これを飲んでもいいのでしょうか？
- 4) グレープフルーツを食べた後は、くすりを飲んではいけないと聞きましたが本当でしょうか？ くすりを飲むときに他に注意すべき食べ物はありますか？
- 5) 水を加えシロップとして飲むようにと書いた薬をもらいました。粉のまま飲んでもいいのでしょうか？

長が中心となり、立ち上げた。このコーナーは一般の方からの薬の飲み方などに関する質問をホームページ上で募り、それに対して、表2に示した各分野でご活躍の先生にお答えいただくものである。現在掲載中の質問は表3の5つである。ホームページからのご質問をお待ちしている。

学会活動の会員への報告

学会の活動報告や活動予定は、通常年会時に行われる総会で会員に報告されるが、総会に出席する会員数は委

任状を除くと決して多くはない。そこで、当ホームページでは、「日本薬剤学会とは」に学会活動の概要、定款、組織図などが、また、「委員会・部会」では、常設の委員会や部会の活動報告や活動予定を掲載することにより、日本薬剤学会が年間を通じてどのような方針で運営されているか、どのような活動をしているかを明らかにしている。ちなみに、この「日本薬剤学会ニュース」は、「じほう」のご好意により、「日本薬剤学会とは」の中に日本薬剤学会(APSTJ)ニュースとして転載させていただいている。

年会や製剤セミナー、英語セミナー、製剤技術伝承講習会などは会員の最も興味のあるところである。年会は別ホームページとなっているので、年会ホームページとのリンク、各種セミナーの案内、申し込みはホームページ上から行える。そのほか、日本薬剤学会の各賞の募集などについてもご覧いただける。また、会誌「薬剤学」からは、目次と若手研究者紹介を転載し、会員以外の方にも薬剤学の最近のテーマを紹介している。

会員専用ページ

これまでに、学会から会員への情報伝達ツールとしてのホームページの構築は、ほぼ軌道に乗った。しかし、

学会から会員への一方通行の情報では十分とはいえない。会員から学会への意見、会員同士の情報・意見交換の場としてホームページを利用できるようにするため、会員専用のページを作ることにした。現在は、まだ運営が始まっていないが、今後、会員や賛助会員からの求人・求職案内、意見交換の場の構築など、新しい試みを検討中である。

おわりに

広報委員会は発足から2年足らずの委員会であり、手探り状態で活動を行ってきたが、ようやく情報伝達ツールとしてのホームページができあがり、また、会員との情報交換のための環境が整った。ぜひ、週に1回は、<http://www.apstj.jp/>にアクセスして学会の活動状況を確認していただきたい。

今後は、日本薬剤学会会員の方はもちろん、関連領域の方々のご意見、ご指導をいただき、会員専用ページをどのように運営していくかと、2番目の課題、日本薬剤学会の社会へのアピールについて取り組んでいく予定である。

